

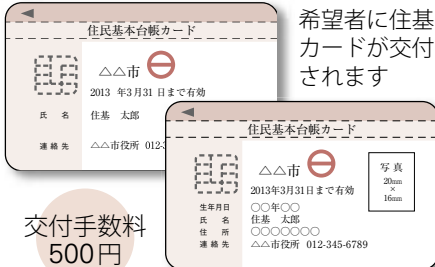
住民基本台帳ネットワークシステム

住基ネット

住基ネット第2次サービスが8月25日から始まります

住民基本台帳カード(住基カード)の交付

▼写真なし



交付手数料
500円

▲写真付き

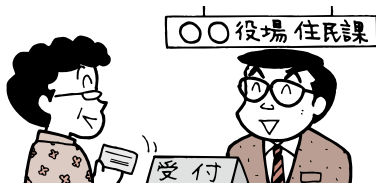
- 2種類あり、写真付きを希望した場合は、身分証明書として利用できます。
- 公的個人認証サービスの電子証明書などの保存用カードとして利用できます。(インターネット上から行政上の申請、届出ができるサービスが利用できます。別途その登録が必要です。11月からの予定ですが、詳細が決まりましたら広報に掲載します。)
- 住民票の写しの広域交付や転入転出手続きの簡素化のために利用できます。

住民票の写しの広域交付

全国どこの市区町村でも自分の住民票の写しが取れるようになります。

現在、住民票の写しの交付は、住んでいる市区町村でしか受けられません。

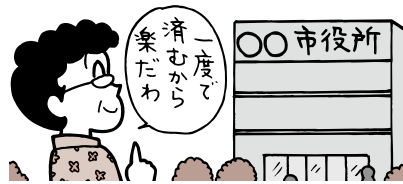
住基ネットを活用して全国の市区町村間で住民票の情報のやり取りができるようになることにより、全国どこの市区町村でも、住基カード、運転免許証などを市区町村の窓口で提示することによって、本人や世帯の住民票の写し(戸籍の表示を省いたもの)の交付が受けられるようになります。



転入転出手続きの簡素化

住基カードの交付を受けている場合、引越のとき、市区町村の窓口に行くのは転入時の1回で済みます。

現在、市外へ引越をされる場合は、まず住んでいる市区町村に転出届を行い、転出証明書の交付を受けた上で、引越先の市区町村に転入届を行う必要があります。住基カードの交付を受けている場合は、確実な本人確認ができるため、一定の事項を記入した転出届を郵送で行い、住基カードを引越先の市区町村の窓口で提示して転入届を行うことにより、引越のときに窓口に行く回数が、転入時の1回だけで済みます。



住基ネットの個人情報保護対策

保有する情報や利用目的を法律で限定しています。

住基ネットが保有する情報は4情報(氏名・生年月日・性別・住所)、住民票コードとこれらの変更情報です。

住民票コードは、利用が限定されています。

民間が利用することは禁止され、行政においても具体的に法律で限定されています。

外部からの侵入と内部の不正利用を防止しています。

専用線・暗号化および運用方法などにより、セキュリティに万全を期しています。万が一の時にはシステムを停止するなど個人情報保護を最優先に運営されます。

住基カードは、個人情報を守るICカードです。

高度のセキュリティ機能を備えたICカードです。カードには本人が暗証番号を設定します。

問合せ先 市民課 ☎66♦1109

ホームページアドレス <http://www.city.gamagori.aichi.jp/fukusi/simin/index.htm>